

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【公表番号】特表2010-529775(P2010-529775A)

【公表日】平成22年8月26日(2010.8.26)

【年通号数】公開・登録公報2010-034

【出願番号】特願2010-511134(P2010-511134)

【国際特許分類】

H 04 W 74/08 (2009.01)

H 04 W 28/04 (2009.01)

【F I】

H 04 Q 7/00 5 7 4

H 04 Q 7/00 2 6 2

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月4日(2011.3.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無線通信システムにおいてランダム接続手続を実行する方法であって、前記方法は、
ランダム接続のためのプリアンブルを移動局からネットワークに送信することと、
前記移動局によって、前記プリアンブルに対する応答として前記ネットワークからラン
ダム接続応答メッセージを受信することであって、前記ランダム接続応答メッセージは、
MAC (メディア接続制御) ヘッダと、0個以上のMACランダムアクセス応答(MAC
RAR)とを有する、ことと

を含み、

前記MACヘッダは、MACサブヘッダを有し、前記MACサブヘッダは、第1の1ビ
ットフィールドと第2の1ビットフィールドとを含み、前記第1の1ビットフィールドの
直後に前記第2の1ビットフィールドが続き、

前記第1の1ビットフィールドは、追加のフィールドが前記MACヘッダに含まれてい
るか否かを示し、

前記第2の1ビットフィールドは、前記MACサブヘッダが、ランダム接続プリアンブ
ル識別子またはバックオフパラメータを有しているか否かを示し、

前記第2の1ビットフィールドが、前記MACサブヘッダが前記ランダム接続プリアン
ブル識別子を有していることを示す場合には、前記MACサブヘッダは、前記ランダム接
続プリアンブル識別子に対応するMAC RARを有し、前記第2の1ビットフィールド
が、前記MACサブヘッダが前記バックオフパラメータを有していることを示す場合には
、前記MACサブヘッダは、前記バックオフパラメータに対応するMAC RARを有し
ていない、方法。

【請求項2】

前記第2の1ビットフィールドが、前記MACサブヘッダが前記バックオフパラメータ
を有していることを示す場合には、前記バックオフパラメータを用いてバックオフを実行
することをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記バックオフパラメータは、共通バックオフパラメータであるか、または、移動端末

によって排他的に使用される排他的バックオフパラメータである、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記第2の1ビットフィールドの後に前記バックオフパラメータが続く、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記第2の1ビットフィールドの直後に前記バックオフパラメータが続く、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

無線通信システムにおいてランダム接続手続を実行する方法であって、前記方法は、ネットワークにおいて、ランダム接続のためのプリアンブルを移動端末から受信すること、

前記ネットワークによって、前記プリアンブルに対する応答としてランダム接続応答メッセージを前記移動端末に送信することで、前記ランダム接続応答メッセージは、MAC(メディア接続制御)ヘッダと、0個以上のMACランダムアクセス応答(MACRAR)とを有する、ことと

を含み、

前記MACヘッダは、MACサブヘッダを有し、前記MACサブヘッダは、第1の1ビットフィールドと第2の1ビットフィールドとを含み、前記第1の1ビットフィールドの直後に前記第2の1ビットフィールドが続き、

前記第1の1ビットフィールドは、追加のフィールドが前記MACヘッダに含まれているか否かを示し、

前記第2の1ビットフィールドは、前記MACサブヘッダが、ランダム接続プリアンブル識別子またはバックオフパラメータを有しているか否かを示し、

前記第2の1ビットフィールドが、前記MACサブヘッダが前記ランダム接続プリアンブル識別子を有していることを示す場合には、前記MACサブヘッダは、前記ランダム接続プリアンブル識別子に対応するMACRARを有し、前記第2の1ビットフィールドが、前記MACサブヘッダが前記バックオフパラメータを有していることを示す場合には、前記MACサブヘッダは、前記バックオフパラメータに対応するMACRARを有していない、方法。

【請求項7】

前記第2の1ビットフィールドが、前記MACサブヘッダが前記バックオフパラメータを有していることを示す場合には、前記バックオフパラメータは、前記移動端末がバックオフを実行することを可能にするように構成されている、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

前記バックオフパラメータは、共通バックオフパラメータであるか、または、前記移動端末によって排他的に使用されるバックオフパラメータである、請求項6に記載の方法。

【請求項9】

前記第2の1ビットフィールドの後に前記バックオフパラメータが続く、請求項6に記載の方法。

【請求項10】

前記第2の1ビットフィールドの直後に前記バックオフパラメータが続く、請求項9に記載の方法。

【請求項11】

無線通信システムにおいてランダム接続手続を実行するように構成されている移動端末であって、

前記移動端末は、プロセッサを含み、

前記プロセッサは、

ランダム接続のためのプリアンブルをネットワークに送信することと、

前記プリアンブルに対する応答として前記ネットワークから受信されたランダム接続応

答メッセージを処理することであって、前記ランダム接続応答メッセージは、MAC(メディア接続制御)ヘッダと、0個以上のMACランダムアクセス応答(MAC RAR)とを有する、ことと

を前記移動端末に行わせるように構成されており、

前記MACヘッダは、MACサブヘッダを有し、前記MACサブヘッダは、第1の1ビットフィールドと第2の1ビットフィールドとを含み、前記第1の1ビットフィールドの直後に前記第2の1ビットフィールドが続き、

前記第1の1ビットフィールドは、追加のフィールドが前記MACヘッダに含まれているか否かを示し、

前記第2の1ビットフィールドは、前記MACサブヘッダが、ランダム接続プリアンブル識別子またはバックオフパラメータを有しているか否かを示し、

前記第2の1ビットフィールドが、前記MACサブヘッダが前記ランダム接続プリアンブル識別子を有していることを示す場合には、前記MACサブヘッダは、前記ランダム接続プリアンブル識別子に対応するMAC RARを有し、前記第2の1ビットフィールドが、前記MACサブヘッダが前記バックオフパラメータを有していることを示す場合には、前記MACサブヘッダは、前記バックオフパラメータに対応するMAC RARを有していない、移動端末。

【請求項12】

前記第2の1ビットフィールドの後に前記バックオフパラメータが続く、請求項11に記載の移動端末。

【請求項13】

前記第2の1ビットフィールドの直後に前記バックオフパラメータが続く、請求項12に記載の移動端末。

【請求項14】

無線通信システムにおいてランダム接続手続を実行するように構成されているネットワークであって、

前記ネットワークは、プロセッサを含み、

前記プロセッサは、

移動端末から受信されたランダム接続のためのプリアンブルを処理することと、

前記プリアンブルに対する応答としてランダム接続応答メッセージを前記移動端末に送信することであって、前記ランダム接続応答メッセージは、MAC(メディア接続制御)ヘッダと、0個以上のMACランダムアクセス応答(MAC RAR)とを有する、ことと

を前記ネットワークに行わせるように構成されており、

前記MACヘッダは、MACサブヘッダを有し、前記MACサブヘッダは、第1の1ビットフィールドと第2の1ビットフィールドとを含み、前記第1の1ビットフィールドの直後に前記第2の1ビットフィールドが続き、

前記第1の1ビットフィールドは、追加のフィールドが前記MACヘッダに含まれているか否かを示し、

前記第2の1ビットフィールドは、前記MACサブヘッダが、ランダム接続プリアンブル識別子またはバックオフパラメータを有しているか否かを示し、

前記第2の1ビットフィールドが、前記MACサブヘッダが前記ランダム接続プリアンブル識別子を有していることを示す場合には、前記MACサブヘッダは、前記ランダム接続プリアンブル識別子に対応するMAC RARを有し、前記第2の1ビットフィールドが、前記MACサブヘッダが前記バックオフパラメータを有していることを示す場合には、前記MACサブヘッダは、前記バックオフパラメータに対応するMAC RARを有していない、ネットワーク。

【請求項15】

前記第2の1ビットフィールドの後に前記バックオフパラメータが続く、請求項14に記載のネットワーク。

【請求項 1 6】

前記第2の1ビットフィールドの直後に前記バックオフパラメータが続く、請求項1 5に記載のネットワーク。